



公民館・学生協働 プロジェクト

笠岡市新山公民館

館長 山本昭夫 主事 中村優子

岡山大学大学院教育学研究科 院生 紺谷遼太郎 胡 倩雯

当初示した地域課題

- 人口減少に伴う少子高齢化
- 地元の魅力・資源の活用とビジネス化への取組
- ふるさとへの愛着
- 地域外への知名度の低さ

地域と学生との協議

3・30 プロジェクトについての3者(公民館・大学・事務局)打合せ

↓学生の地域の現状把握の必要性

5・13 大学院生(9名)と地元各種団体(20団体)代表者との懇親会



地域と学生との協議

7・18 ワークショップによる「地域の課題の洗い出し」と
「協働プロジェクトで取り組むテーマの方向性の共有」



学生と協働して取り組む課題

★人口減少に伴う少子高齢化

- ・地元の魅力・資源の活用とビジネス化への取組

★ふるさとへの愛着

- ・地域外への知名度の低さ

そのために……

子どもたちが、将来

「このまちに帰ってきたい！」

「このまちが好き！」

「このまちが自慢だ！」



学生間での検討

◆小学校への聞き取り

- ・小学校のカリキュラム・ねらい・児童の様子
- ・「学校教育が担っている部分」と「学校のカリキュラム内では取り組みにくい部分」の選り分け

公民館の特色を生かした取組

◆具体的な学習プログラムの検討



目指す子どもたちの姿と想い

自分の生まれ育ったまちに...

- ①興味・関心をもつ。
- ②自分の親しみのあるものがたくさんあることに気づく。
- ③大切な思いのつまった「自分のまち」を大切に思う心情を育む。
- ④まちのために何かしたいという気持ちをもち、社会の中で思いを実現する。

具体的な取組

講座名

「まちのお宝探検隊」

ねらい

- ①興味・関心をもつ。
- ②自分の親しみのあるものがたくさんあることに気づく。

内容

子どもたちの目線で、「自分の宝」(自分の親しみのある人、食べ物、建物、風景など)をさがす！

新山公民館の思い

●今までも、地域の文化・歴史的な宝については紹介してきた。

⇒「子どもにとって」の宝という視点は新しい！

●大人が子どもたちにこんなことを体験させてやりたい！という講座を企画してきた。

⇒「子どもがやりたい」講座になっている！



まちのお宝探検隊の様子

①大学生が自分にとっての故郷の宝を紹介する。



まちのお宝探検隊の様子

②自分たちの宝を探しに行き、写真を撮る。



まちのお宝探検隊の様子

③友達に「自分の宝」を紹介する。



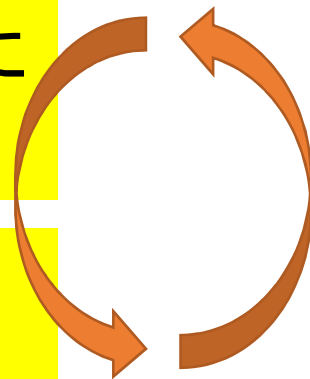
まちのお宝探検隊を振り返って



今後の取り組み

自分の生まれ育ったまちに...

- ①興味・関心をもつ。
- ②自分の親しみのあるものがたくさんあることに気づく。
- ③大切な思いのつまった「自分のまち」を大切に
思う心情を育む。
- ④まちのために何かしたいという気持ちをもち、
社会の中で思いを実現する。



公民館で、子どもたちのやりたい講座の企画を行ったり、いっしょに運営したりする。